

2024年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月14日

上場会社名 岡本硝子株式会社

上場取引所

東

コード番号 7746 URL <https://ogc-jp.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO

(氏名) 岡本 毅

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長

(氏名) 風間 卓

TEL 04-7137-3111

定時株主総会開催予定日 2024年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2024年7月1日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・新聞記者向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	4,583	6.2	61	53.5	146	0.1	101	52.6
2023年3月期	4,886	3.6	133	40.9	146	8.5	214	

(注) 包括利益 2024年3月期 159百万円 (35.3%) 2023年3月期 246百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	4.38		6.3	1.9	1.3
2023年3月期	9.23		15.2	1.9	2.7

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 百万円 2023年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	7,987	1,693	21.2	72.76
2023年3月期	7,590	1,533	20.2	65.89

(参考) 自己資本 2024年3月期 1,693百万円 2023年3月期 1,533百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	337	473	220	1,665
2023年3月期	423	256	288	1,531

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計) 百万円	配当性向 (連結) %	純資産 配当率 (連結) %
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2023年3月期		0.00		0.00	0.00			0.0
2024年3月期		0.00		0.00	0.00			0.0
2025年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,260	11.0	40		10		2		0.09
通期	5,310	15.9	200	223.2	160	9.4	120	17.7	5.16

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期	23,305,543 株	2023年3月期	23,305,543 株
期末自己株式数	2024年3月期	29,870 株	2023年3月期	29,869 株
期中平均株式数	2024年3月期	23,275,674 株	2023年3月期	23,280,077 株

(参考)個別業績の概要

2024年3月期の個別業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	4,279	6.6	62		45	71.1	385	
2023年3月期	4,581	3.8	10	78.3	158	18.0	247	85.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	16.58	
2023年3月期	10.65	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2024年3月期	6,936		1,361		19.6	58.51		
2023年3月期	7,053		1,747		24.8	75.06		

(参考) 自己資本 2024年3月期 1,361百万円 2023年3月期 1,747百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 企業集団の状況	4
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
4. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、高インフレに伴う各国の金融引き締めが継続し、景気減速が懸念される状況となっております。米国では、堅調な個人消費に支えられ景気は緩やかに回復し、ヨーロッパ地域では、景気は弱含んでおり、中国では、不動産開発投資の減少と個人消費が振るわなかったことにより景気は減速しています。日本では、堅調な個人消費などにより景気は緩やかに持ち直しています。

当期において、プロジェクター需要が、中国市場を中心に弱含みに推移したことに加えて、プロジェクターメーカー各社の在庫調整が長期化したことにより、当社グループのプロジェクター用反射鏡及びフライアイレンズの販売は減少しました。

この結果、当期の連結業績は、売上高4,583百万円(前期比6.2%減)、経常利益146百万円(前期比0.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益101百万円(前期比52.6%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①光学事業

当連結会計年度の売上高は1,968百万円と前期と比べ307百万円(13.5%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は327百万円と前期と比べ54百万円(14.2%)の減益となりました。

プロジェクター用反射鏡は、販売数量が前期比で11.0%減少し、売上高は5.6%減少いたしました。フライアイレンズは、販売数量が前期比で17.9%減少し、売上高は20.5%減少いたしました。

②照明事業

当連結会計年度の売上高は508百万円と前期と比べ215百万円(29.8%)の減収となり、セグメント損失(営業損失)は2百万円と前期と比べ40百万円(前期のセグメント利益は38百万円)の減益となりました。タッチパネルのカバーガラスの売上高が減少いたしました。

③機能性薄膜・ガラス事業

当連結会計年度の売上高は1,288百万円と前期と比べ32百万円(2.6%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は53百万円と前期と比べ21百万円(28.6%)の減益となりました。コックピット表示装置の蒸着加工とガラスフリットの売上高が増加しました。

④その他

当連結会計年度の売上高は818百万円と前期と比べ187百万円(29.7%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は166百万円と前期と比べ56百万円(51.2%)の増益となりました。技術支援等に係る売上高、UV反射鏡の売上高等が増加し、洗濯機用ドアガラスの売上高が減少しました。

(2) 当期の財政状態の概況

(イ)資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ305百万円の増加となりました。この主な要因は、売掛金が229百万円増加したことなどによるものであります。

有形固定資産は、前連結会計年度末に比べ115百万円の増加となりました。

無形固定資産は、前連結会計年度末に比べ24百万円の減少となりました。

投資その他の資産は、前連結会計年度末に比べ0百万円の増加となりました。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ397百万円の増加となりました。

(ロ)負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ289百万円の増加となりました。この主な要因は、短期借入金が219百万円増加し、1年内返済予定の長期借入金が57百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ51百万円の減少となりました。この主な要因は、退職給付に係る負債が41百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ237百万円の増加となりました。

(ハ)純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べ159百万円の増加となりました。この主な要因は、利益剰余金が101百万円増加し、退職給付に係る調整累計額が47百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ133百万円増加し、1,665百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により資金は337百万円増加(前連結会計年度は423百万円増加)しました。税金等調整前当期純利益142百万円(前連結会計年度は188百万円)、減価償却費364百万円(前連結会計年度は285百万円)、その他の資産の減少額140百万円(前連結年度はその他の資産の増加額77百万円)などの増加要因に対し、売上債権の増加額200百万円(前連結会計年度は売上債権の減少額286百万円)などの減少要因がありました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により資金は473百万円減少(前連結会計年度は256百万円減少)しました。国庫補助金による収入106百万円(前連結会計年度は11百万円)などの増加要因に対し、有形固定資産の取得による支出566百万円(前連結会計年度は313百万円)などの減少要因がありました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により資金は220百万円増加(前連結会計年度は288百万円減少)しました。短期借入金の純増額219百万円、長期借入れによる収入940百万円などの増加要因に対し、長期借入金の返済による支出872百万円などの減少要因がありました。

(4) 今後の見通し

顧客在庫調整の一巡により、フライアイレンズ等の光学事業、ガラスフリット等の機能性薄膜・ガラス事業の販売が増加する見通しです。また、機能性薄膜・ガラス事業では、放熱基板の本格量産を計画しています。その一方で、新潟岡本硝子株式会社の反射鏡生産用ガラス溶融炉の更新設備投資が2024年10月に完了することに伴う減価償却費、労務費上昇など固定費を中心としたコスト増加要因はありますが、営業利益は増加する見込みです。

これらにより、2025年3月期の連結業績につきましては、売上高5,310百万円、営業利益200百万円、経常利益160百万円、親会社株主に帰属する当期純利益120百万円と予想しております。

2. 企業集団の状況

当社グループは、当社、連結子会社(新潟岡本硝子株式会社、二光光学株式会社、JAPAN 3D DEVICES株式会社、蘇州岡本貿易有限公司及び岡本光学科技股份有限公司)の計6社で構成され、特殊ガラス及び薄膜製品の製造販売を主な事業の内容としております。

当社グループの事業に係る位置付け及びセグメントとの関連は、次のとおりであります。

なお、セグメントと同一の区分であります。

(1) 光学事業

プロジェクター用反射鏡、フライアイレンズ、デジタルシネマ用映写機の反射鏡などの製造及び販売を行っております。

<主な関係会社>

新潟岡本硝子株式会社、岡本光学科技股份有限公司、蘇州岡本貿易有限公司

(2) 照明事業

自動車用ヘッドライト・フォグライト用カバーガラス、一般用照明用ガラス製品などの製造及び販売を行っております。

<主な関係会社>

岡本光学科技股份有限公司、蘇州岡本貿易有限公司

(3) 機能性薄膜・ガラス事業

ガラス容器への加飾蒸着、高耐久性銀ミラー(Hi-Silver®)、フリット(ガラス粉末)などの製造及び販売を行っております。

<主な関係会社>

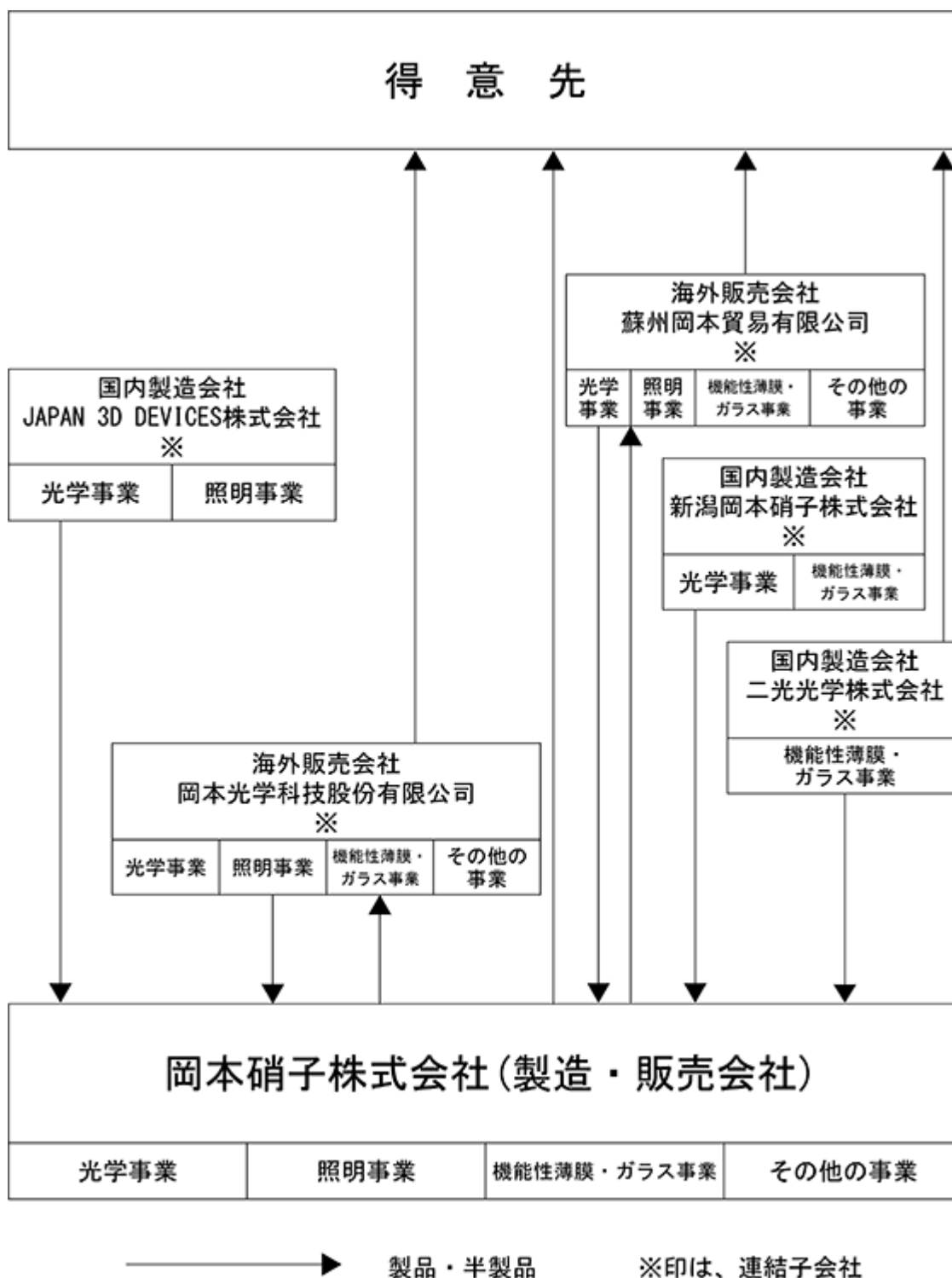
新潟岡本硝子株式会社、二光光学株式会社、岡本光学科技股份有限公司

(4) その他

デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラスなどの製造及び販売を行っております。

<主な関係会社>

岡本光学科技股份有限公司



3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,538,944	1,676,133
受取手形	287,915	261,790
売掛金	759,704	989,254
商品及び製品	303,294	350,080
仕掛品	592,193	629,965
原材料及び貯蔵品	160,564	161,445
その他	175,762	54,857
流動資産合計	3,818,378	4,123,528
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,538,816	4,550,533
減価償却累計額	△3,306,509	△3,429,556
建物及び構築物（純額）	1,232,306	1,120,977
機械装置及び運搬具	4,853,180	5,074,486
減価償却累計額	△4,004,167	△4,097,824
機械装置及び運搬具（純額）	849,012	976,662
工具、器具及び備品	1,066,010	1,098,363
減価償却累計額	△1,036,758	△1,060,911
工具、器具及び備品（純額）	29,252	37,451
土地	764,514	764,514
リース資産	589,199	590,794
減価償却累計額	△465,368	△492,465
リース資産（純額）	123,830	98,329
建設仮勘定	503,820	620,603
有形固定資産合計	3,502,737	3,618,537
無形固定資産		
その他	48,687	24,411
無形固定資産合計	48,687	24,411
投資その他の資産		
投資有価証券	30,529	34,914
繰延税金資産	47,122	39,207
その他	143,306	147,287
投資その他の資産合計	220,959	221,408
固定資産合計	3,772,384	3,864,356
資産合計	7,590,763	7,987,884
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	337,588	314,756
短期借入金	820,000	1,039,240
1年内返済予定の長期借入金	683,989	741,831
リース債務	65,989	22,667
未払金	177,427	218,406
未払法人税等	27,667	31,497
賞与引当金	34,655	54,051
設備関係支払手形	6,898	17,906
その他	66,537	69,592

流動負債合計	2,220,753	2,509,950
固定負債		
長期借入金	3,397,926	3,407,918
リース債務	84,362	62,977
繰延税金負債	40,507	40,375
退職給付に係る負債	235,517	194,071
資産除去債務	75,696	78,507
その他	2,192	500
固定負債合計	3,836,202	3,784,349
負債合計	6,056,956	6,294,299
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,495,740	2,495,740
資本剰余金	734,225	734,225
利益剰余金	△1,771,855	△1,669,910
自己株式	△429	△429
株主資本合計	1,457,680	1,559,625
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,173	3,019
為替換算調整勘定	60,636	70,335
退職給付に係る調整累計額	13,257	60,552
その他の包括利益累計額合計	76,067	133,907
非支配株主持分	58	52
純資産合計	1,533,807	1,693,584
負債純資産合計	7,590,763	7,987,884

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	4,886,741	4,583,458
売上原価	3,402,449	3,126,153
売上総利益	1,484,292	1,457,304
販売費及び一般管理費		
役員報酬	92,800	100,650
給料及び手当	430,167	433,150
賞与	14,953	21,974
賞与引当金繰入額	13,942	20,482
退職給付費用	15,643	14,343
減価償却費	93,114	82,168
旅費及び交通費	24,409	31,204
支払手数料	105,999	115,135
運賃	52,476	42,054
研究開発費	104,202	125,016
その他	403,446	409,251
販売費及び一般管理費合計	1,351,155	1,395,432
営業利益	133,136	61,872
営業外収益		
受取利息	1,236	3,794
受取配当金	2,670	973
為替差益	36,553	65,619
助成金収入	27,461	59,434
その他	21,286	24,749
営業外収益合計	89,208	154,571
営業外費用		
支払利息	58,568	60,147
その他	17,589	10,015
営業外費用合計	76,158	70,163
経常利益	146,186	146,280
特別利益		
固定資産売却益	7	—
投資有価証券売却益	39,301	—
国庫補助金受贈益	11,191	106,661
特別利益合計	50,500	106,661
特別損失		
固定資産除却損	1,037	24
減損損失	—	10,644
固定資産圧縮損	7,435	99,769
特別損失合計	8,473	110,439
税金等調整前当期純利益	188,213	142,503
法人税、住民税及び事業税	29,810	33,022
法人税等調整額	△56,571	7,543
法人税等合計	△26,761	40,565
当期純利益	214,975	101,938
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△8	△6
親会社株主に帰属する当期純利益	214,984	101,944

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	214,975	101,938
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,929	846
為替換算調整勘定	4,433	9,698
退職給付に係る調整額	31,506	47,294
その他の包括利益合計	32,010	57,839
包括利益	246,985	159,777
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	246,994	159,784
非支配株主に係る包括利益	△8	△6

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年 4月 1日 至 2023年 3月 31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,495,740	734,225	△1,986,839	△429	1,242,696
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			214,984		214,984
自己株式の取得				0	0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	214,984	0	214,984
当期末残高	2,495,740	734,225	△1,771,855	△429	1,457,680

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	6,102	56,203	△18,248	44,057	67	1,286,821
当期変動額						
親会社株主に帰属する当期純利益						214,984
自己株式の取得						0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3,929	4,433	31,506	32,010	△8	32,001
当期変動額合計	△3,929	4,433	31,506	32,010	△8	246,985
当期末残高	2,173	60,636	13,257	76,067	58	1,533,807

当連結会計年度(自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月 31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,495,740	734,225	△1,771,855	△429	1,457,680
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			101,944		101,944
自己株式の取得				0	0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	101,944	0	101,944
当期末残高	2,495,740	734,225	△1,669,910	△429	1,559,625

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,173	60,636	13,257	76,067	58	1,533,807
当期変動額						
親会社株主に帰属する当期純利益						101,944
自己株式の取得						0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	846	9,698	47,294	57,839	△6	57,832
当期変動額合計	846	9,698	47,294	57,839	△6	159,777
当期末残高	3,019	70,335	60,552	133,907	52	1,693,584

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	188,213	142,503
減価償却費	285,591	364,942
のれん償却額	8,060	8,060
減損損失	—	10,644
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	404
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,058	19,395
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3,470	5,848
受取利息及び受取配当金	△3,907	△4,768
支払利息	58,568	60,147
為替差損益 (△は益)	6,793	△41,898
助成金収入	△27,461	△59,434
固定資産売却損益 (△は益)	△7	—
固定資産除却損	1,037	24
国庫補助金受贈益	△11,191	△106,661
固定資産圧縮損	7,435	99,769
投資有価証券売却損益 (△は益)	△39,301	—
売上債権の増減額 (△は増加)	286,517	△200,708
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△204,157	△84,706
仕入債務の増減額 (△は減少)	26,813	△23,792
その他の資産の増減額 (△は増加)	△77,855	140,783
その他の負債の増減額 (△は減少)	13,305	35,655
小計	518,867	366,210
利息及び配当金の受取額	3,907	4,768
利息の支払額	△58,939	△60,227
助成金の受取額	24,982	59,599
法人税等の支払額	△65,182	△32,531
営業活動によるキャッシュ・フロー	423,634	337,820
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,800	△2,400
投資有価証券の取得による支出	△11,630	△3,297
投資有価証券の売却による収入	67,653	—
有形固定資産の取得による支出	△313,813	△566,166
有形固定資産の売却による収入	10	—
無形固定資産の取得による支出	△1,308	△5,503
国庫補助金による収入	11,191	106,661
その他の支出	△3,701	△3,523
その他の収入	24	446
投資活動によるキャッシュ・フロー	△256,373	△473,782

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△170,000	219,240
長期借入れによる収入	950,000	940,000
長期借入金の返済による支出	△982,140	△872,166
リース債務の返済による支出	△86,354	△66,186
財務活動によるキャッシュ・フロー	△288,495	220,886
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,606	48,663
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△125,840	133,588
現金及び現金同等物の期首残高	1,657,580	1,531,740
現金及び現金同等物の期末残高	1,531,740	1,665,328

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、プロジェクターなどの電子機器に組み込まれるガラス製部品の製造販売に関する光学事業、照明用ガラス製品の製造販売に関する照明事業及び特殊機能を持つ薄膜・ガラス製品の製造販売に関する機能性薄膜・ガラス事業を主力に事業展開をしております。

したがって、当社は「光学事業」、「照明事業」及び「機能性薄膜・ガラス事業」の3つを報告セグメントとしております。

「光学事業」は、プロジェクター用反射鏡、フライアイレンズ、デジタルシネマ用映写機の反射鏡などの製造及び販売を行っております。

「照明事業」は、自動車用ヘッドライト・フォグライト用カバーガラス、一般照明用ガラス製品などの製造及び販売を行っております。

「機能性薄膜・ガラス事業」は、ガラス容器への加飾蒸着、高耐久性銀ミラー(Hi-Silver®)、フリット(ガラス粉末)などの製造及び販売を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表の作成方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	光学事業	照明事業	機能性薄膜・ ガラス事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	2,275,562	724,148	1,256,127	4,255,838	630,902	4,886,741
その他の収益	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	2,275,562	724,148	1,256,127	4,255,838	630,902	4,886,741
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	2,275,562	724,148	1,256,127	4,255,838	630,902	4,886,741
セグメント利益	381,676	38,052	74,584	494,313	109,877	604,190
セグメント資産	2,394,413	1,221,233	1,294,162	4,909,810	487,578	5,397,389
その他の項目						
減価償却費	138,870	53,914	52,345	245,129	20,652	265,782
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	232,696	15,336	49,270	297,303	969	298,273

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラスなどを含んでおります。

2. セグメント負債については、事業セグメントに負債を配分していないため記載していません。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	光学事業	照明事業	機能性薄膜・ ガラス事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	1,968,214	508,223	1,288,706	3,765,145	818,313	4,583,458
その他の収益	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	1,968,214	508,223	1,288,706	3,765,145	818,313	4,583,458
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,968,214	508,223	1,288,706	3,765,145	818,313	4,583,458
セグメント利益又は セグメント損失(△)	327,302	△2,485	53,217	378,034	166,133	544,167
セグメント資産	2,567,518	1,093,666	1,392,982	5,054,167	642,164	5,696,332
その他の項目						
減価償却費	134,464	44,724	60,088	239,277	105,901	345,179
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	248,667	5,186	119,704	373,558	91,812	465,371

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラスなどを含んでおります。

2. セグメント負債については、事業セグメントに負債を配分していないため記載しておりません。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	4,255,838	3,765,145
「その他」の区分の売上高	630,902	818,313
セグメント間取引消去	—	—
連結財務諸表の売上高	4,886,741	4,583,458

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	494,313	378,034
「その他」の区分の利益	109,877	166,133
全社費用(注)	△471,054	△482,295
連結財務諸表の営業利益	133,136	61,872

(注) 全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	4,909,810	5,054,167
「その他」の区分の資産	487,578	642,164
全社資産(注)	2,193,374	2,291,552
連結財務諸表の資産合計	7,590,763	7,987,884

(注) 全社資産は、主に親会社での余資運用資金(現金及び有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	245,129	239,277	20,652	105,901	19,808	19,762	285,591	364,942
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	297,303	373,558	969	91,812	3,513	23,955	301,786	489,326

5 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	光学事業	照明事業	機能性薄膜・ガラス事業	計			
減損損失	—	—	10,644	10,644	—	—	10,644

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	65円89銭	72円76銭
1株当たり当期純利益	9円23銭	4円38銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	—	—

(注1) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	214,984	101,944
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属 する当期純利益(千円)	214,984	101,944
普通株式の期中平均株式数(千株)	23,280	23,275
潜在株式調整後1株当たり当期純利 益		
親会社株主に帰属する当期純利益 調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(千株)	—	—
(うち新株予約権(千株))	—	—
希薄化効果を有しないため、潜在株 式調整後1株当たり当期純利益の算 定に含めなかった潜在株式の概要		—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。